

「地域に根ざした県民から 信頼される大学」をめざす



森永 力 学長

もりなが・つとむ／広島大学大学院
工学研究科醗酵工学専攻修了。広島
県立大学教授を経て、2021年4月
より現職

課題探究型 地域創生人材を育成

本学は「地域に根ざした、県民から信頼される大学」を基本理念に掲げ、県立広島女子大学（広島市）、広島県立大学（庄原市）、広島県立保健福祉大学（三原市）の3県立大学が統合して



2020年に創立100周年を迎えた県立広島大学

2005年4月に開学しました。広島、庄原、三原の各キャンパスで各学部が地域に根ざした教育、研究を行なっています。

私たちが目指しているのは「主体的に考え、課題解決に向け行動できる実践力、多様性を尊重する国際感覚や豊かなコミュニケーション能力を身につけ、生涯学び続ける自律的な学修者として、地域創生に貢献できる課題探究型地域創生人材を育成すること」。そのため授業ではグループワークやデイスカッション、フィールドワークなどを通じて課題を解決し

ていくアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。大学が地域社会の発展に寄与していくためには、教員の研究力が最重要ですが、先駆的、独創的な研究への助成を行う文部科学省の科学研究費助成事業において、本学の採択件数は中国・九州・沖縄の27公立大学の中でこの15年間、トップの座※にあります。これは教員が確かな研究力を持って教育にあたっている証だと自負しています。本学の優れた教育環境を大いに活用して頂き、地域のみならず世界で活躍できる人材に育ってほしいと願っています。

※文部科学省資料より2007～2021年